

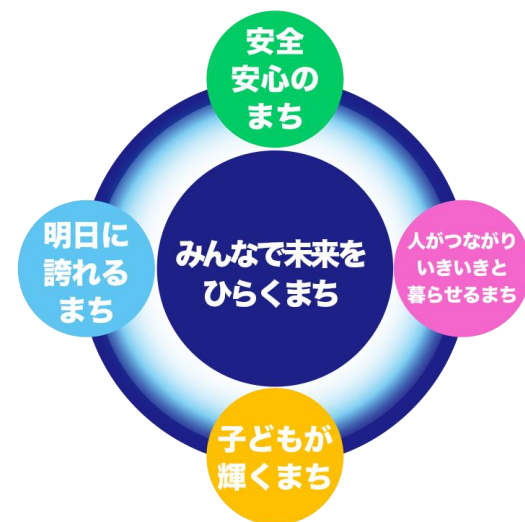
安全・安心のまち
人がつながり・いきいきと暮らせるまち
子どもが輝くまち
明日に誇れるまち

令和8年度 都島区運営方針 (案) 説明資料 【区政会議用】

大阪市都島区役所
(令和8年3月作成)

目次

経営課題 1 安全・安心のまち	…… 3
1-1 防災のまちづくり	
1-2 防犯のまちづくり	
1-3 安全で美しいまちづくり	
経営課題 2 人がつながり・いきいきと暮らせるまち	…… 11
2-1 コミュニティ豊かなまちづくり	
2-2 いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり	
経営課題 3 子どもが輝くまち	…… 16
3-1 安心して子育てできるまちづくり	
3-2 未来社会を担う人材育成	
経営課題 4 明日に誇れるまち	…… 23
4-1 にぎわいと魅力あるまちづくり	
4-2 区の魅力創出・発信	





拡大地域防災リーダー研修会



夏休み交通安全教室 (株式会社あさひ)



花苗の出荷



防災のまちづくり
防犯のまちづくり
安全で美しいまちづくり



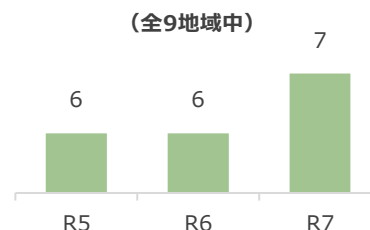
（現状と取組の方向性）

1 - 1 防災のまちづくり

災害への備えとして個人・家族での取組（自助）は比較的進んでいるものの、地域の助け合い（共助）の構築に地域差がある。

⇒地域防災活動の偏りをなくすために、地域のイベント等で、講師の派遣や防災BOOKを活用した啓発や、地域が実施する防災訓練の支援を行う。また、中高生を含めた新たな担い手となり得る人材の育成に取り組む必要がある。

自主防災組織への支援をした地域数

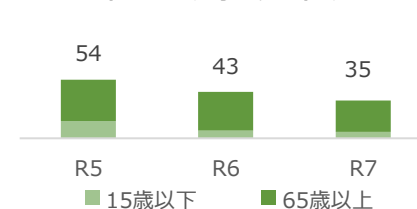


1 - 2 防犯のまちづくり

区内で依然として犯罪が多発していることや、令和8年4月の道路交通法一部改正に伴い、自転車の交通違反にも交通反則通告制度が適用される。

⇒区民の防犯・交通安全意識の向上を図るために、地域と連携した青色防犯パトロール車による巡回や、自転車マナーアップ等の出前講座及び情報発信を実施する必要がある。

区内の交通事故発生件数



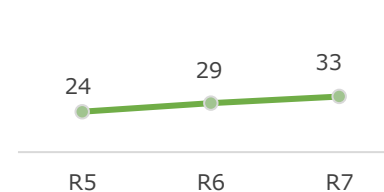
※R7年度は11月末現在

1 - 3 安全で美しいまちづくり

区内各所では、さまざまな団体や個人による清掃活動が積極的に行われているが、交流の機会を創出できていない。

⇒活動情報の共有や交流の機会づくりのために、区内で展開されているさまざまな清掃活動を「見える化」することで、地域の美化活動をさらに推進する必要がある。

区内清掃ボランティア活動への参加団体数



※都島クリーン作戦、ゆめまちロードOSAKA,大川かたづけ隊に参加したのべ団体数

1-1 防災のまちづくり



めざすべき将来像：全区民が災害の備えをし、助け合って避難行動できる状態。

自助の取組の推進

6 決算額	2,246千円	7 予算額	10,132千円	8 予算額	4,909千円
-------	---------	-------	----------	-------	---------

町会やマンション管理組合などが主催するイベント等に、講師の派遣や防災BOOKを活用した支援を行う。

令和8年度計画（取組内容）

- 出前講座での啓発 20回
- 区内で開催されるイベント等における啓発 通年
- 防災BOOKを活用したイベント 1回
- 土曜授業等を活用した小中高生への啓発 3回
- 様々な広報媒体を活用した情報発信 20回

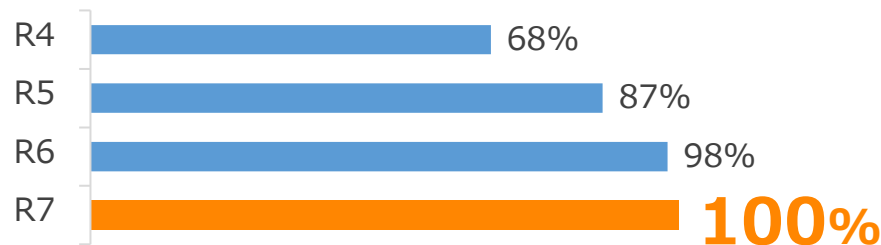
令和7年度取組実績 (12月末現在)

- 出前講座での啓発 31回
- 区内で開催されるイベント等における啓発 7回
- 防災イベントの実施 1回
- 土曜授業等を活用した小中高生への啓発 4回
- 様々な広報媒体を活用した情報発信 21回



防災BOOK

災害への備えの重要性に対する意識が高まったと感じる出前講座受講者の割合



※R7年度は12月末時点

1-1 防災のまちづくり



めざすべき将来像：全区民が災害の備えをし、助け合って避難行動できる状態。

共助の取組の推進

6 決算額	5,450千円	7 予算額	5,923千円	8 予算額	5,185千円
-------	---------	-------	---------	-------	---------

地域防災力の向上を図るため、地域が実施する防災訓練の支援や、地域防災リーダー及び中高生を対象としたユース防災リーダーの育成を推進し、新たな担い手となり得る人材の育成支援に取り組む。

令和8年度計画（取組内容）

- ・ 防災訓練等への民間企業の参加 2事業所
- ・ 地域防災リーダー研修 3回
- ・ ユース防災リーダー研修 3回
- ・ 自主防災組織への支援 9地域
- ・ 様々な広報媒体を活用した情報発信 10回

令和7年度取組実績（12月末現在）

- ・ 地域、行政、関係機関と連携した防災訓練 0回
- ・ 地域防災リーダー研修 4回
- ・ 地域防災訓練への支援 7地域
- ・ 民間企業等への協力要請 2事業所
- ・ 様々な広報媒体を活用した情報発信 21回



地域防災リーダーアドバンスコース（消火コース）（放水訓練）

災害への備えの重要性に対する意識が高まったと感じる地域主体の防災訓練参加者の割合



※R7年度は12月末時点

1-2 防犯のまちづくり



めざすべき将来像：全区民が防犯を意識し、犯罪を抑止する環境が整っている状態。

警察等と連携した防犯活動

6決算額	2,374千円	7予算額	2,573千円	8予算額	3,156千円
------	---------	------	---------	------	---------

青色防犯パトロール車による巡回や防犯カメラ設置による街頭犯罪の抑止に取り組む。警察と連携した防犯啓発やさまざまな広報媒体を活用し防犯情報を発信する。また、自動通話録音機の無償貸与を行うことで特殊詐欺の被害防止に取り組む。

令和8年度計画（取組内容）

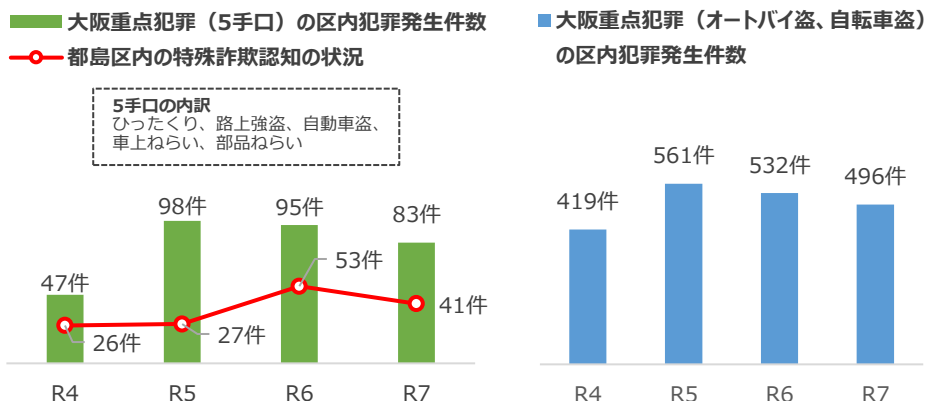
- ・ 出前講座等による防犯啓発 23回
- ・ イベント等における防犯啓発 通年
- ・ 地域安全防犯カメラ更新 10台
- ・ さまざまな広報媒体を活用した情報発信 23回



出前講座（大東小学校）

令和7年度取組実績（12月末現在）

- ・ 出前講座等による防犯啓発 23回
- ・ 警察と連携した防犯啓発 16回、特殊詐欺防止啓発9回、自動通話録音機貸与台数 54台
- ・ 地域安全防犯カメラ新規設置 5台（累計55台）
- ・ さまざまな広報媒体を活用した情報発信 23回



※R7年度は11月末までの累計件数

1-2 防犯のまちづくり



めざすべき将来像：全区民が防犯を意識し、犯罪を抑止する環境が整っている状態。

交通マナーアップの啓発

6 決算額	10千円	7 予算額	26千円	8 予算額	26千円
-------	------	-------	------	-------	------

令和8年4月に改正道路交通法が施行されることに伴い、学校園を含めた幅広い年齢層に対して警察と連携した出前講座等を実施することで正しい交通ルールを守れるよう意識の底上げを図る。

令和8年度計画（取組内容）

- 交通安全教室等の実施 12回
- イベント等における交通安全啓発 通年
- 放置自転車防止を目的とした小学生絵画作品展を開催 1回
- さまざまな広報媒体を活用した情報発信 15回

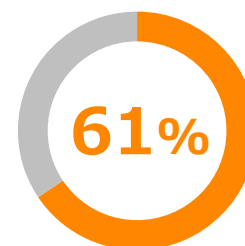
令和7年度取組実績（12月末現在）

- 交通安全教室等の実施 12回
- 警察等と連携した交通安全街頭啓発 11回、地域と連携した自転車マナーアップ啓発 2回
- 放置自転車防止啓発児童絵画路面シート貼付 1回
- さまざまな広報媒体を活用した情報発信 15回



啓発活動（サイクルベースあさひ共催イベント）

令和7年交通安全大会参加者のうち、令和8年4月から道路交通法が改正され、自転車利用時のルールが厳格化される内容を知っていると回答した者の割合



1-3 安全で美しいまちづくり



めざすべき将来像：ごみのポイ捨てや放置自転車が減少し、環境に優しく、誰もが安全に通行ができる状態。

環境美化の推進

6決算額	4,515千円	7予算額	4,244千円	8予算額	4,401千円
------	---------	------	---------	------	---------

地域、企業、商店会等と協働し、ボランティア清掃活動を推進するとともに、種花ボランティアが育てた花苗を各地域に出荷することで、区全体の環境美化意識の向上を図る。
また、危険な状況にある特定空家等の是正に取り組む。

令和8年度計画（取組内容）

- ・ 環境美化啓発 通年
- ・ 種花ボランティアによる花苗出荷先件数 45件
- ・ 特定空家等の是正 11件
- ・ さまざまな広報媒体を活用した情報発信 5回
- ・ 新！都島クリーン作戦に参加した団体 20団体



清掃活動（新！都島クリーン作戦）

環境美化活動参加者のうち、ボランティア清掃等の活動が環境美化意識の向上につながると感じると回答した者の割合



令和7年度取組実績（12月末現在）

- ・ 市民協働型の清掃活動 10回、京橋地域の安全なまちづくり連絡協議会によるマナー啓発活動 5回
- ・ 種花ボランティアによる花苗出荷先件数 45件
- ・ 特定空家等の是正 11件
- ・ さまざまな広報媒体を活用した情報発信 20回
- ・ 新！都島クリーン作戦に参加した団体 18団体

1-3 安全で美しいまちづくり



めざすべき将来像：ごみのポイ捨てや放置自転車が減少し、環境に優しく、誰もが安全に通行ができる状態。

京橋地域における客引き行為や路上喫煙対策

6 決算額	1,001千円	7 予算額	20千円	8 予算額	52千円
-------	---------	-------	------	-------	------

京橋を快適に通行できる街にするため、地域や商店会等と連携し、違法な客引きを利用しないという意識の醸成や、ポイ捨て防止など喫煙者のマナー向上を図るための啓発活動に取り組む。また、大阪市内全域が路上喫煙禁止となったことについて更なる周知啓発に努める。

令和8年度計画（取組内容）

- 京橋地域の安全なまちづくり連絡協議会による啓発活動 通年
- 市民協働型の喫煙マナー啓発活動 通年
- 喫煙マナー向上を目的とした中学生絵画作品展を開催 1回
- さまざまな広報媒体を活用した情報発信 5回

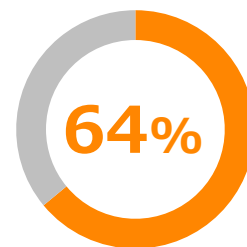
令和7年度取組実績（12月末現在）

- 京橋地域の安全なまちづくり連絡協議会による啓発活動 13回
- 市民協働型の喫煙マナー啓発活動 1回
- 喫煙者のマナー啓発ポスターを作成し、区内に掲示 1回
- さまざまな広報媒体を活用した情報発信 2回



啓発活動（ゆめまちロードOSAKA）

環境美化活動参加者のうち、京橋地域の「客引き行為等適正化重点地区」の指定と「路上喫煙禁止地区」が区民・来街者に浸透したと感じると回答した者の割合



（令和7年度）

人がつながり・いきいきと暮らせるまち

人がつながり
いきいきと
暮らせるまち



地域の祭り



地域福祉コーディネーターによる「スタンプラリー」

MIYAKOJIMA
ひと×まち File
#都島好きと繋がりたい

都島は、モノ・場所・活動・イベントがあふれるコミュニティフィールド
関係を築いて、動にはアイデアをイベントーション

～魅力ある人・モノ・場所・活動・イベント～

令和8年10月1日
企画・制作 都島区



コミュニティ豊かなまちづくり いきいきと健康に暮らせる 福祉のまちづくり

(現状と取組の方向性)

2-1 コミュニティ豊かなまちづくり

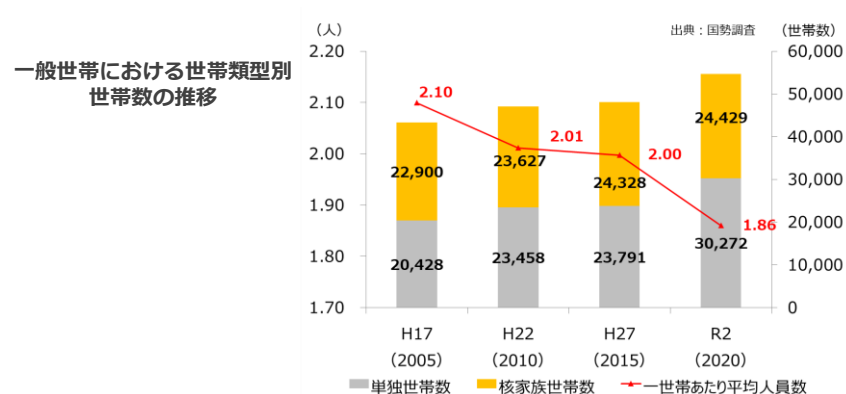
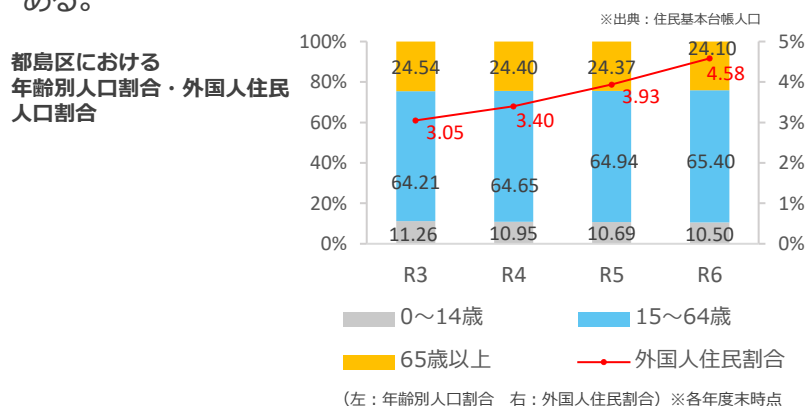
少人数世帯・高齢単身世帯の増加などの社会環境の変化や個人の生活様式及び価値観の多様化などにより、地域のつながりの希薄化への危機感は一層高まっている。また、地域活動の担い手不足やライフスタイルの変化などにより、地域活動への参加意識が低下している。

⇒これまで地域と関わりが少なかった若い世代やマンション住民などに対する人と人がつながる機会の提供や担い手不足の解消・負担軽減及び町会加入促進など地域の実情に即したきめ細やかな支援などを行い、より多くの住民参加による自律的な地域運営を推進することが必要である。

2-2 いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり

地域コミュニティの希薄化や社会的孤立を背景に、福祉課題の「複雑化・多様化・深刻化」が進み、ひとり暮らしの高齢者や障がい者のいる世帯、子育てに悩みを抱える世帯などの地域での孤立や災害時における要援護者の把握などが課題となっている。また、いずれの相談機関にもつながらず、亡くなった状態で発見されるケースも起きている。

⇒関係機関と連携し、福祉サービスにつながっていない要援護者にアウトリーチを行い、自ら相談できない人を発見し支援につなげていくとともに、見守り活動のコーディネートを行い、見守り活動が自主的かつ円滑に進むよう、支援体制を整備する必要がある。



2-1 コミュニティ豊かなまちづくり

めざすべき将来像：これまで培われてきた人と人との「つながり」や「きずな」を礎にしなが、新たな生活様式を踏まえつつ、あらゆる世代が生涯学習や地域活動への参加・参画による「まなび」を通してつながりを育成し、持続的に地域コミュニティが活性している状態。

人がつながり
いきいきと
暮らせるまち

地域コミュニティの推進

6 決算額	9,375千円	7 予算額	9,177千円	8 予算額	9,628千円
-------	---------	-------	---------	-------	---------

区民まつりを区民参画型で開催し、区民が企画、運営、広報などを主体的に行えるよう実行委員会を支援することで、人材育成、交流促進、コミュニティ育成につなげる。また、地域活動の情報発信を積極的に行うことで、地域活動への理解促進に取り組む。

令和8年度計画（取組内容）

- ①区民まつり 1回（9月開催予定）
 - ・ 住民間交流の促進
 - ・ 多様な地域活動の担い手との連携
- ②地域活動の情報発信
 - ・ 広報誌やSNSを活用した情報発信
及びMIYAKOJIMAひと×まちFILE 年12回以上

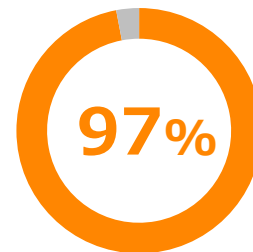
令和7年度取組実績（12月末現在）

- ①区民まつり(9月)
参加者数約34,000人、出展団体数 86団体
- ②広報誌やSNSを活用した情報発信
及びMIYAKOJIMAひと×まちFILE 22件



第51回区民まつり

区民まつり来場者アンケートにおいて、区民まつりへの参加が地域とつながる機会となったと感じると回答した参加者の割合



（令和7年度）

2-1 コミュニティ豊かなまちづくり

めざすべき将来像：これまで培われてきた人と人との「つながり」や「きずな」を礎にしながら、新たな生活様式を踏まえつつ、あらゆる世代が生涯学習や地域活動への参加・参画による「まなび」を通してつながりを育成し、持続的に地域コミュニティが活性している状態。

人がつながり
いきいきと
暮らせるまち

地域活動協議会による自律的な地域運営の促進

6 決算額	39,922千円	7 予算額	41,465千円	8 予算額	41,295千円
-------	----------	-------	----------	-------	----------

地域活動協議会が円滑な運営や多様な活動主体間の連携が図れるよう中間支援組織を活用した効果的な支援を行うことで、より多くの住民参加による自律的な地域運営の実現をめざす。

令和8年度計画（取組内容）

- ①地域活動協議会補助金の交付による財政的支援 9地域
- ②中間支援組織（まちづくりセンター）による活動の支援 通年
 - ・ 地域運営と活動のデジタル化、町会加入促進、担い手拡大などに関する支援 9地域
 - ・ 他地域活動事例（他区地域も含む）の共有会議の開催 1回以上

令和7年度取組実績（12月末現在）

- ①地域活動協議会補助金の交付 9地域
- ②中間支援組織による活動の支援
 - ・ 会計事務、町会加入促進、デジタル化などに関する支援 9地域
 - ・ 他地域活動事例の共有 1回



ふれあい喫茶

まちづくりアンケートにおいて、地域活動協議会の構成団体が地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思うと回答した割合



2-2 いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり

人がつながり
いきいきと
暮らせるまち

めざすべき将来像：地域に福祉の身近な相談窓口があり、地域住民がお互いに見守り活動を行うことにより、安心して生活できる状態。また、区民がいきいきと健康で生活することができる状態。

地域福祉コーディネーターによる福祉相談の充実や見守り体制の強化

6 決算額	11,939千円	7 予算額	12,458千円	8 予算額	13,108千円
-------	----------	-------	----------	-------	----------

「気にかける・つながる・支えあう」見守り体制の強化をめざし、地域の身近な相談窓口として、関係機関とのつなぎ役や制度の狭間に埋もれている人を発見する機能のほか、地域の見守りの中心となり「要援護者の見守りネットワーク強化事業」の名簿を活用した見守りを行う。

令和8年度計画（取組内容）

- ・ 地域福祉コーディネーターの配置
- ・ 各地域における福祉相談
- ・ 要援護者名簿を活用した高齢者等の見守り活動
- ・ 見守りの担い手支援等
- ・ ※9地域11名、年間240日、5時間/日の配置

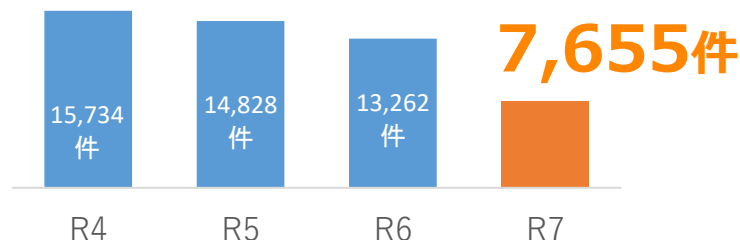


定期的な見守り活動「百歳体操」

地域福祉コーディネーターによる相談・訪問等活動件数

令和7年度取組実績（12月末現在）

- ・ 地域福祉コーディネーターによる相談・訪問等活動件数7,655件
- ・ 地域福祉コーディネーターが住民から受けた福祉相談を地域包括支援センターやランチと連携した件数3,815件



※R7年度は12月末までの累計件数



安心して子育てできるまちづくり 未来社会を担う人材育成

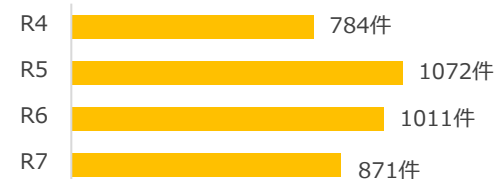
(現状と取組の方向性)

3-1 安心して子育てできるまちづくり

子育ての不安や悩みを保護者だけで抱える傾向にあり、社会全体に頼るという意識が定着していない。また、発達障がいやその疑いのある子どもへの関わり方や、不登校・行き渋りなどによる社会的な孤立を懸念する相談が増加している。

⇒身近な相談場所として子育て支援室等の情報を発信するとともに、子育ての不安感・負担感を軽減するため、有資格者による専門相談を実施するなど、発達障がいや不登校などの課題を抱える子どもやその家族を支援する必要がある。

子育て支援室での相談件数



※のべ件数 ※R7年度は12月末までの累計件数

3-2 未来社会を担う人材育成

子どもを支える人や場が不足しているが、将来の夢や目標を持つことのできるよう、学びや遊びを通じた子どもの成長の機会を支援する必要がある。

⇒学校や家庭だけでなく、地域で子どもを支える場づくりなど、子どもが明るく健やかに成長できるよう、環境を整備する必要がある。

また、経済的な理由等で学習面での機会が少ない子どもに対する直接的な支援が必要である。

将来の夢や目標を持っている
区内小中学生の割合



※全国学力・学習状況調査において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した区内小中学生の割合

3-1 安心して子育てできるまちづくり

めざすべき将来像：授乳や育児について相談しやすい環境が整い、育児不安が解消され、いきいきと健康に暮らせる状態。子どもや子育て世帯がライフステージに応じた支援を受けることで、子どもの笑顔が輝き、子育てに伴う喜びが実感できる状態。

子どもが
輝くまち

妊娠期から親子のきずなはぐくみ支援

6 決算額	585千円	7 予算額	903千円	8 予算額	628千円
-------	-------	-------	-------	-------	-------

就労妊婦や多胎妊婦とその家族が不安なく出産・育児が行えるよう支援するとともに、産後の授乳や子育てについて相談しやすいよう身近な地域等で講座や教室を行う。

令和8年度計画（取組内容）

- ① みやっこプレパママクラス 6回(土曜日午前)
- ② ベビーふれあい教室 概ね毎月2回 24回
- ③ ふたごちゃん・みつごちゃんのプレパプレママ教室 2回
- ④ 育児教室 月1回 12回

令和7年度取組実績（12月末現在）

- ・ みやっこプレパママクラス 4回 103名
- ・ ベビーふれあい教室 18回 118名
- ・ ふたごちゃん・みつごちゃんのプレパプレママ教室 1回 8名
- ・ 育児教室 9回 30名



みやっこプレパママクラス

妊娠期から親子のきずなはぐくみ支援事業において、育児に関して役に立ったと回答した参加者の割合



3-1 安心して子育てできるまちづくり

めざすべき将来像：授乳や育児について相談しやすい環境が整い、育児不安が解消され、いきいきと健康に暮らせる状態。子どもや子育て世帯がライフステージに応じた支援を受けることで、子どもの笑顔が輝き、子育てに伴う喜びが実感できる状態。

子どもが
輝くまち

子育て相談体制の充実

6 決算額	9,477千円	7 予算額	9,985千円	8 予算額	10,092千円
-------	---------	-------	---------	-------	----------

子育ての不安感や負担感を軽減するため、様々な機会をとらえて相談できる窓口等を周知し、臨床心理士等の有資格者が専門性を活かし、相談に応じる。

令和8年度計画（取組内容）

- ・ 健診や関係機関訪問等での子育て支援室の周知 50回以上



臨床心理士による相談

令和7年度取組実績（12月末現在）

- ・ 子育て支援室での相談件数 のべ871件
- ・ 臨床心理士による福祉相談件数 のべ 768件

臨床心理士による福祉相談件数



※R7年度は12月末までの累計件数

3-1 安心して子育てできるまちづくり

めざすべき将来像：授乳や育児について相談しやすい環境が整い、育児不安が解消され、いきいきと健康に暮らせる状態。子どもや子育て世帯がライフステージに応じた支援を受けることで、子どもの笑顔が輝き、子育てに伴う喜びが実感できる状態。

子どもが
輝くまち

「重大な児童虐待ゼロ」に向けた相談支援体制の強化

6 決算額	10,929千円	7 予算額	11,376千円	8 予算額	12,029千円
-------	----------	-------	----------	-------	----------

妊産婦や精神的に不安のある保護者に対し、それぞれ有資格者が専門的に支援を行うことで、虐待リスクの軽減を図る。

令和8年度計画（取組内容）

- 子育て支援室に精神保健福祉士と、支援が必要な妊婦（要支援妊婦）に対応するための保育士を配置（通年）
- 区内9地域に地域子育て連絡員を配置（通年）

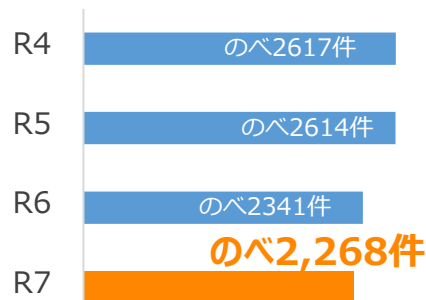


精神保健福祉士による専門相談

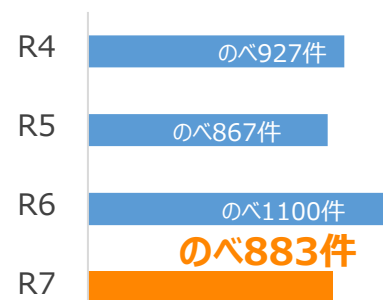
令和7年度取組実績（12月末現在）

- 精神保健福祉士が対応した件数 のべ 2,268件
- 要支援妊婦担当が対応した件数 のべ 883件
- 地域子育て連絡員対応件数 89件

精神保健福祉士による
相談件数



要支援妊婦担当による
相談件数



※R7年度は12月末までの累計件数

3-2 未来社会を担う人材育成

めざすべき将来像：経済状況や家庭環境に左右されることなく、すべての子どもが将来の夢や目標をもち、未来社会を担う人材が育成される状態。

子どもが
輝くまち

未来を切り拓く学力・体力の向上支援

6 決算額	3,569千円	7 予算額	3,927千円	8 予算額	3,927千円
-------	---------	-------	---------	-------	---------

学校内外で子どもが学習や運動に積極的に取り組めるよう、授業への支援や学校外での学習の機会・場の創出を推進する。

令和8年度計画（取組内容）

- ・ 教育力向上支援事業
各小中学校が行う学力・体力の向上にかかる取組の支援 通年
- ・ 情報リテラシー教育の実施 1回以上
- ・ 小学生運動能力向上支援事業
トップアスリートやスポーツトレーナーによる実技指導 通年
- ・ 都島区課外授業
民間事業者による課外授業 通年
- ・ キャリア教育
小中学校に対するキャリア教育の充実 通年

令和7年度取組実績（12月末現在）

- ・ 教育力向上支援事業：区内小中学校へ必要物品等の支援 全14校
- ・ 小学生運動能力向上支援事業：実技指導 トップアスリート10回、スポーツトレーナー 30回
- ・ 課外授業：参加登録した児童・生徒数 53名



小学生運動能力向上支援事業

教育事業についてのアンケート（各小中学校）において、学力・体力向上支援で効果があったと回答した学校の割合



3-2 未来社会を担う人材育成

めざすべき将来像：経済状況や家庭環境に左右されることなく、すべての子どもが将来の夢や目標をもち、未来社会を担う人材が育成される状態。

子どもが
輝くまち

子どもを支える環境の充実

6 決算額	7,663千円	7 予算額	10,625千円	8 予算額	10,886千円
-------	---------	-------	----------	-------	----------

経済面や家庭環境に課題を抱える小学生をサポートするため、学習支援・悩み相談を行う居場所を区内全9地域に開設する。

令和8年度計画（取組内容）

- 小学生サポート事業
学習支援を含む居場所を区内全9か所に開設（通年）
- 区内居場所づくり団体との連携
情報提供・活動情報の発信（通年）



小学生サポート事業

参加者（悩み相談者）へのアンケートで、「話を聞いてもらえてよかった」と回答した児童の割合

令和7年度取組実績（12月末現在）

- 学習支援を含む居場所を区内全9地域に開設
- 参加児童数 のべ 996名





桜ノ宮ビーチフェスティバル

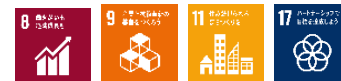


都島Meets NATUREフィールドワーク

とっきーカレンダー2026



区マスコット「都希（とっきー）」カレンダー



にぎわいと魅力あるまちづくり 区の魅力創出・発信

明日に誇れるまち

明日に
誇れる
まち

（現状と取組の方向性）

4-1 にぎわいと魅力あるまちづくり

都島区は、三方を川に囲まれ、恵まれた自然環境や、歴史・文化、立地といった高いポテンシャルをもつ。

⇒区民が誇りを持ち、住み続けたいと思うとともに、多くの人々が訪れたい、住みたいと思ってもらえるよう、区内外に向け、民間活力を取り入れて、区のポテンシャルを生かした地域の活性化及びさらなる魅力創出・発信の取組が必要である。

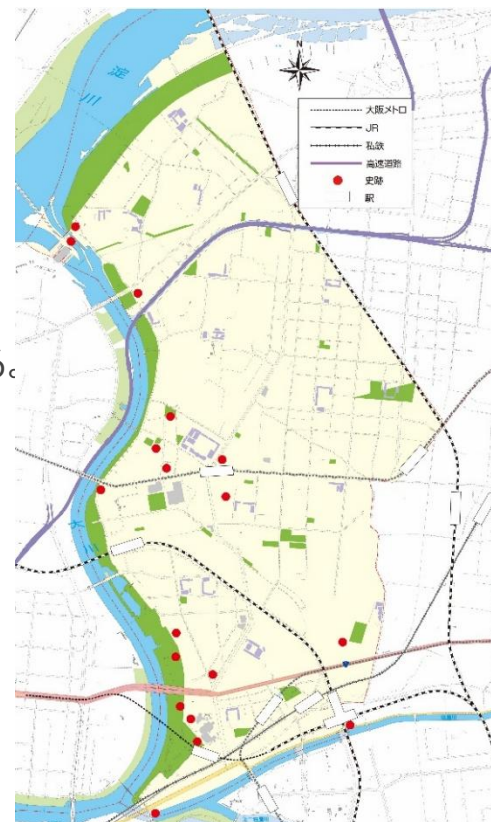
また、今後の長期的なまちの変化に対応し、より戦略的な施策展開を行う必要がある。

4-2 区の魅力創出・発信

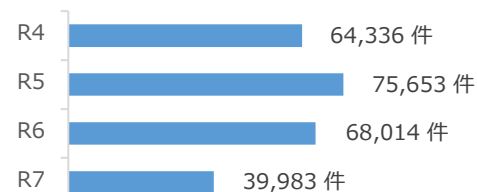
区が発信する情報の取得手段として「広報誌」の定着はみられるが、対象や発信する内容に応じて、ホームページやSNSの利用を高める必要がある。

⇒多様な広報ツールを活用し、区内外に向け都島区に興味を持ってもらえるような情報発信やプロモーションを行う必要がある。

また、都島区の魅力資源や魅力向上の取組についての情報発信が必要である。



都島区ホームページトップページ閲覧数（※）



※のべ件数 R7は11月末時点

4-1 にぎわいと魅力あるまちづくり

めざすべき将来像：三方を川に囲まれた都島区の恵まれた自然環境、立地、歴史・文化、産業などの特色を活かした地域の活性化が図られ、まちのにぎわいと魅力が高まり、区民が誇りを持ち、住み続けたいと思うとともに、多くの人々が訪れたい、住みたいと思う状態。

水辺のにぎわいづくり

6 決算額	91千円	7 予算額	98千円	8 予算額	98千円
-------	------	-------	------	-------	------

桜ノ宮ビーチでのスポーツイベント等を共催するほか、イベントの側面支援を通じ、民間活力による水辺のにぎわいづくりなどを進め、魅力向上につなげる。

令和8年度計画（取組内容）

- ・ 桜ノ宮ビーチでのスポーツイベント（ビーチフェスティバルなど）の共催・協力 1回
- ・ 官民連携した水辺のイベント（砂遊び教室など）の開催 1回
- ・ 大阪府などと連携した民間団体による水辺のイベントの側面支援 通年
- ・ 水辺の認知拡大に向けた広報用記事の発信 通年

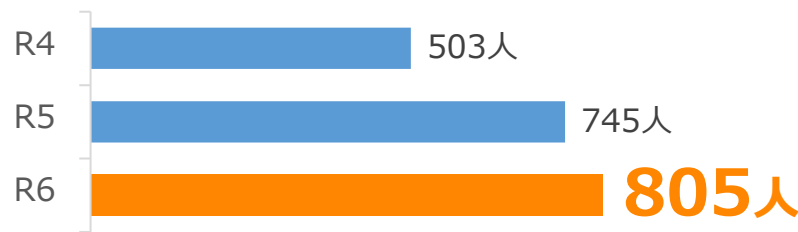
令和7年度取組実績（12月末現在）

- ・ 「桜ノ宮ビーチフェスティバル」（区主催の砂遊びひろばを含む）の共催に向けた調整 ※荒天によりイベントは中止
- ・ 水辺の認知拡大に向けた動画投稿 1回
- ・ SNSやLINE等を活用した水辺のイベント告知及び水辺の魅力PR 通年



親子で楽しむ砂遊びひろば

桜ノ宮ビーチフェスティバルの参加者数



※のべ人数
※R7年度は荒天によりイベント中止のため測定なし

4-1 にぎわいと魅力あるまちづくり

めざすべき将来像：三方を川に囲まれた都島区の恵まれた自然環境、立地、歴史・文化、産業などの特色を活かした地域の活性化が図られ、まちのにぎわいと魅力が高まり、区民が誇りを持ち、住み続けたいと思うとともに、多くの人々が訪れたい、住みたいと思う状態。

都島区まちづくりビジョン2040のスタートアップ

6 決算額	18,807千円	7 予算額	47,505千円	8 予算額	43,000千円
-------	----------	-------	----------	-------	----------

今後のまちの長期的な変化に対応し、より戦略的な施策展開を行うため、長期的な視点での区の将来像を示す、都島区まちづくりビジョン2040の実現に向け、スタートアップとなる取組を行う。

令和8年度計画（取組内容）

- ターゲットエリアである京橋公園周辺の活性化に向け、地域で活動されている方と連携した社会実験（Green Oasis 都島）や、イルミネーションを実施
- 淀川沿い（淀川河川公園等）における地域魅力を発信するため、学校と連携した取組や、イベント（都島Meets NATURE）等を実施

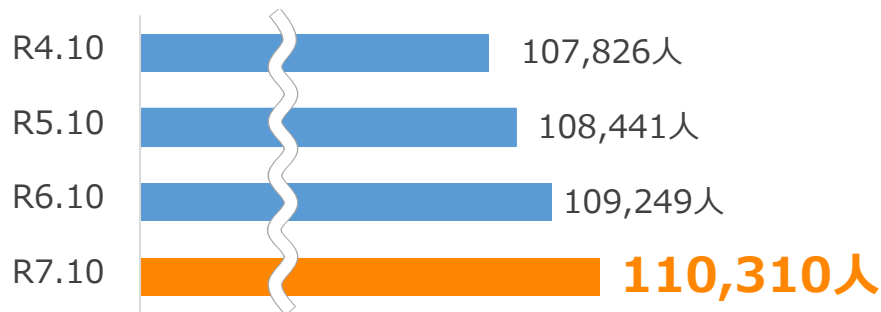


京橋公園での実地調査（Green Oasis 都島）

令和7年度取組実績（12月末現在）

- 都島区まちづくりビジョン2040策定に向けた検討調査業務委託 7月～3月（予定）
- 都島区北部（淀川沿岸）の地域特性を活かしたまちづくりに向けた調査業務委託 9月～3月（予定）
- 京橋公園イルミネーション実施 9月～10月

都島区の推計人口



※大阪市ホームページ「推計人口（毎月1日現在）・人口異動」より

4-2 区の魅力創出・発信

めざすべき将来像：さまざまな媒体を通して、暮らしに関する情報や都島区の魅力を発信し、区内外に届けることで区民や来街者等が関心を持ち、都市イメージの向上が図られている状態。

明日に
誇れる
まち

多角的な広報の推進

6 決算額	18,154千円	7 予算額	22,485千円	8 予算額	23,251千円
-------	----------	-------	----------	-------	----------

「大阪市情報発信等最適化施策」に基づき、情報発信する内容やその対象に応じて、ホームページ、SNSなどを活用した多角的な広報を推進する。

令和8年度計画（取組内容）

- ・ 広報誌の発行（16ページ建て6回、20ページ建て6回）全戸配布 12回
- ・ ホームページへの情報掲載 通年
- ・ SNSによる即時性をいかした情報発信 通年
- ・ 広聴業務に関する広報 14回（うち、各種相談事業実施日時及び区出前講座の周知 13回）

令和7年度取組実績（12月末現在）

- ・ 広報誌の全戸配布 9回
- ・ ホームページへの情報掲載 通年
- ・ SNSによる情報発信 通年
- ・ 各種相談事業実施日時等の周知 14回



大阪市公式LINEの周知

大阪市公式LINEアカウントにおいて、都島区を受信設定している登録者数

R6.3月末 1,960人

R7.3月末 2,573人

R7.11月末 **2,803人**

※令和6年1月、都島区LINEアカウントを大阪市公式LINEアカウントへ移行

4-2 区の魅力創出・発信

明日に
誇れる
まち

めざすべき将来像：さまざまな媒体を通して、暮らしに関する情報や都島区の魅力を発信し、区内外に届けることで区民や来街者等が関心を持ち、都市イメージの向上が図られている状態。

区の魅力発信

6 決算額	205千円	7 予算額	831千円	8 予算額	1,632千円
-------	-------	-------	-------	-------	---------

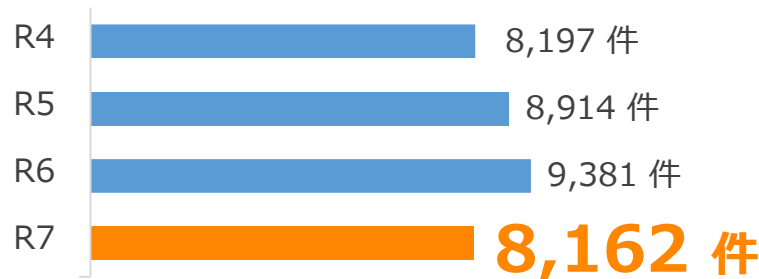
区の歴史や文化、景観などの都市魅力が、区民の参画・協働により、区内外に広く発信され、また、新たな魅力が創出されるよう取組を推進する。

令和8年度計画（取組内容）

- ・ フォトコンテストの開催 1回
- ・ 区の歴史・文化などの魅力発信（動画の作成及び配信、リーフレット等の配布など） 通年
- ・ SNSによる魅力情報の発信 通年

プリント写真部門	SNS(Instagram)部門
応募期間 令和7年9月1日(金)～10月7日(金)必着	応募期間 令和7年9月1日(金)～10月7日(金)
応募資格 大塚地区在住・在学・在勤の方	応募資格 どなたでも参加(アカウントに必要)
応募点数 1人最大3作品まで(単写真に限る)	応募点数 1人最大3作品まで投稿
作品規格 A4またはA3(縦)サイズ(ワイド可)	応募方法 Instagramの都島区公式アカウント
応募方法 送付または持参	ローの上、「#都島区魅力フォトコンテスト」をタグ付けし、おまじけ当選アカウントをタグ付けしてください。

区ホームページの「都島区の魅力」コンテンツ閲覧者数



※R7年度は12月末までの累計件数

令和7年度取組実績 (12月末現在)

- ・ 都島区魅力フォトコンテストの開催 8月～10月
- ・ 動画による区の魅力資源の発信 通年
- ・ SNSによる魅力情報の発信 通年
- ・ 都島史跡マップ等のリーフレット配架 通年
- ・ とっきーカレンダー制作 2026年分